

令和5年度 教職課程 自己点検評価報告

令和6年4月 山形大学

ID	大項目	中項目	区分	部局	評価	理由	判断の根拠						
1	授業科目・教育課程の編成実施	シラバスの作成状況	授業科目	自己点検・評価の観点				評価基準					
				教員の養成（教育実践研究科はスクールリーダーの育成を含む）の目標及び計画と当該授業科目の関係等に関する確認が行われているか。				A	教員の養成（教育実践研究科はスクールリーダーの育成を含む）の目標及び計画と当該授業科目の関係等に関する確認が行われており、定期的な検証・改善が行われている。	B	教員の養成（教育実践研究科はスクールリーダーの育成を含む）の目標及び計画と当該授業科目の関係等に関する確認が行われていないが、改善に向けた検討が行われている。	C	教員の養成（教育実践研究科はスクールリーダーの育成を含む）の目標及び計画と当該授業科目の関係等に関する確認が行われていない。
				人文社会科学部	A	設定された教員養成の目標を実現していくための到達目標（様式第8号ウ）は、導入・基礎・展開・完成と、学年ごとに展開させていく学部のカリキュラム構成に沿うものである。また、シラバスチェック時には様式8号ア・ウ、教職課程コアカリキュラム（英語）と各授業科目のシラバス記載事項との整合性の確認をし、必要に応じて改善を行っている。	様式第8号ア・ウ 英語コアカリキュラム対応表 シラバス（現在）						
				社会文化創造研究科	A	シラバスチェック時に、教員養成の目標及び計画と各授業科目のシラバス記載事項との整合性の確認をし、必要に応じて改善を行っている。また、これに加えて、統括教育ディレクターが確認する仕組みを取り入れている。	様式第7号ア シラバス（課程認定時・現在）						
				地域教育文化学部	A	シラバスチェック時に様式8号ア・ウ、学習指導要領、教職課程コアカリキュラム（該当科目のみ）と各授業科目のシラバス記載事項との整合性の確認をし、必要に応じて改善を行っている。また、これに加えて、統括教育ディレクターが確認する仕組みを取り入れている。	課程認定書類様式8号ア・ウ シラバス（課程認定時・現在） コアカリキュラム対応表						
				教育実践研究科（教職大学院）	A	毎年度、授業担当教員に対してシラバス記載内容について確認を依頼しており、必要に応じて変更・修正を行っている。また、これに加えて、統括教育ディレクターが確認する仕組みを取り入れている。	【シラバス作成依頼書】（事務担当所蔵） 【地教スケジュール表】（事務担当所蔵）						
				理学部	A	シラバスチェック時に様式8号ア・ウ、学習指導要領、教職課程コアカリキュラム（該当科目のみ）と各授業科目のシラバス記載事項との整合性の確認をし、必要に応じて改善を行っている。	課程認定書類様式8号ア・ウ シラバス（課程認定時・現在） コアカリキュラム対応表						
				理工学研究科（理学系）	A	シラバスチェック時に様式8号ア・ウ、学習指導要領、教職課程コアカリキュラム（該当科目のみ）と各授業科目のシラバス記載事項との整合性の確認をし、必要に応じて改善を行っている。	課程認定書類様式8号ア・ウ シラバス（課程認定時・現在） コアカリキュラム対応表						
				工学部	A	工学部の各学科は、ディプロマ・ポリシー(DP)とカリキュラムポリシー(CP)に則った教員養成を行っており、DPとCPと各授業科目の到達目標との整合性の確認をし、必要に応じて改善を行っている。また、R5年度入学生向け学生便覧から、各種資格のページで、DPと教職課程の目標との関わりを明記する改善を行った。	学生便覧（DP、CP）、 学生便覧（各種資格）、 シラバス（現在）						
				理工学研究科（工学系）	A	理工学研究科の各専攻は、ディプロマ・ポリシー(DP)とカリキュラムポリシー(CP)に則った教員養成を行っており、DPとCPと各授業科目の到達目標との整合性の確認をし、必要に応じて改善を行っている。	学生便覧（DP、CP）、 シラバス（現在）						

令和5年度 教職課程 自己点検評価報告

令和6年4月 山形大学

ID	大項目	中項目	区分	部局	評価	理由	判断の根拠	
2		個々の授業科目の見直しの状況	授業科目	自己点検・評価の観点		評価基準		
						A (適切に実施している)	B (概ね適切に実施している)	C (改善すべき事項がある)
				個々の授業科目の見直しのための機会を設けているか。		個々の授業科目の見直しのための機会を設け、定期的な検証・改善が行われている。	個々の授業科目の見直しのための機会を設けていないが、改善に向けた検討が行われている。	個々の授業科目の見直しのための機会を設けていない。
				人文社会科学部	A	シラバスチェック時にアクティブラーニングやICT活用状況、その他工夫について確認をしていると共に、授業評価のフィードバックによって個々の授業科目の見直しを促進している。	シラバス (現在) 授業改善アンケート結果	
				社会文化創造研究科	A	次年度開講科目のカリキュラム・チェックリストやシラバス作成を行う際、各授業科目において到達目標などの授業内容構成に関する確認を行う機会を随時設けている。また、前期終了時に、院生たちに向けてWeb入力による記載形式のアンケートを行っており、この中で研究環境や授業・カリキュラム全般のことについて意見を聞いている。その結果に基づき、見直しや改善を行っている。	カリキュラム・チェックリスト シラバス (課程認定時・現在)	
				地域教育文化学部	A	シラバスチェック時にアクティブラーニングやICT活用状況、その他の工夫について確認をし、自己点検・評価結果の教授会審議の際に全教員に紹介することで個々の授業科目の見直しを促進している。さらに、授業懇談会 (令和5年度は「AIに関する情報交換会」) を実施し、授業担当教員間で最新情報および授業における課題・工夫等を共有している。また、各学期の終わりに授業改善アンケートを実施し、その結果に基づいて授業内容や授業方法などの見直しや改善を行っている。	シラバス (現在) 授業担当教員へのアンケート結果 授業懇談会「AIに関する情報交換会」実施要項	
				教育実践研究科 (教職大学院)	A	研究科内に学務担当の業務部会及び総務企画委員会を設け、授業科目の常時点検と見直しを行っている。また、毎年、大学院教育実践研究科運営協議会 (教職課程連絡協議会を兼ねる) を開催し、授業科目について検証を行っている。さらに、教員が主体となって授業改善アンケートを実施しており、アンケート結果は、毎年4月の実践研究科委員会にて諮っている。その結果に基づき、授業内容などの見直しや改善を行っている。	【研究科委員会資料：業務分担】 (事務担当所蔵) 【総務企画委員会規則】 (事務担当所蔵)	
				理学部	A	各学期に授業改善アンケートを実施し、結果に基づいて授業内容等の見直しや改善を行っている。また、シラバスチェック時にアクティブラーニング等の活用状況、その他の工夫について確認をし、必要に応じて改善を行っている。	シラバス (現在) 授業改善アンケート実施状況	
				理工学研究科 (理学系)	A	各学期に授業改善アンケートを実施し、結果に基づいて授業内容等の見直しや改善を行っている。また、シラバスチェック時にアクティブラーニング等の活用状況、その他の工夫について確認をし、必要に応じて改善を行っている。	シラバス (現在) 授業改善アンケート実施状況	
工学部	A	各学期の終わりに授業改善アンケートを実施し、その結果に基づいて授業内容や授業方法などの見直しや改善を行っている。また、シラバス作成時に授業担当教員がチェック項目に基づき内容のセルフチェックを行い、必要に応じて改善を行っている。	授業改善アンケート シラバスセルフチェック結果					
理工学研究科 (工学系)	A	各学期の終わりに授業改善アンケートを実施し、その結果に基づいて授業内容や授業方法などの見直しや改善を行っている。また、シラバス作成時に授業担当教員がチェック項目に基づき内容のセルフチェックを行い、必要に応じて改善を行っている。	授業改善アンケート シラバスセルフチェック結果					

令和5年度 教職課程 自己点検評価報告

令和6年4月 山形大学

ID	大項目	中項目	区分	部局	評価	理由	判断の根拠		
3	教職員組織	職員の配置状況	大学全体	自己点検・評価の観点			評価基準		
							A (適切に実施している)	B (概ね適切に実施している)	C (改善すべき事項がある)
				職員の配置状況（事務組織、必要な職員数）の確認が行われているか。			職員の配置状況（事務組織、必要な職員数）の確認が行われており、定期的な検証・改善が行われている。	職員の配置状況（事務組織、必要な職員数）の確認が行われていないが、改善に向けた検討が行われている。	職員の配置状況（事務組織、必要な職員数）の確認が行われていない。
-	A	令和5年度に事務組織を改編し、教職課程の自己点検・評価をはじめ、全学システムやカリキュラム編成など教員養成の全学方針に関する事項にかかわる事務業務については全学部局であるエンロールメント・マネジメント部教務課教育企画担当を中心に遂行している。また、教育実習および免許申請に関する事項にかかわる事務業務については、免許資格担当を中心に、各キャンパスの事務部門で担当し、必要に応じて教育企画担当と連絡調整を行いながら遂行している。事務組織の業務分担や職員配置の状況については教員養成委員会で確認を行っている。				山形大学教員養成委員会規則 山形大学組織図			
4	授業評価アンケートの実施状況	授業科目	自己点検・評価の観点			評価基準			
						A (適切に実施している)	B (概ね適切に実施している)	C (改善すべき事項がある)	
			授業評価アンケートが行われているか。			授業評価アンケートが行われており、定期的な検証・改善が行われている。	授業評価アンケートが行われていないが、改善に向けた検討が行われている。	授業評価アンケートが行われていない。	
			人文社会科学部	A	各学期に授業改善アンケートを実施し、結果に基づいて授業内容等の見直し、改善を行っている。				授業改善アンケート結果
			社会文化創造研究科	A	毎年度各学期で授業評価アンケートを実施し、必要に応じて授業内容等の見直しや改善を行っている。				授業改善アンケート実施要項・結果
			地域教育文化学部	A	各学期に授業評価アンケートを実施し、結果に基づいて授業内容等の見直し、改善を行っている。				授業評価アンケート結果
			教育実践研究科 (教職大学院)	A	研究科教員が主体となり、授業評価アンケートを行なっている。また、アンケート結果を研究科委員会で共有しており、授業内容の見直しの材料とし、授業改善を図っていく仕組みができています。				【研究科委員会資料：アンケート結果】（事務担当所蔵）
			理学部	A	各学期に授業改善アンケートを実施し、結果に基づいて授業内容等の見直し、改善を行っている。				授業改善アンケート実施状況
			理工学研究科（理学系）	A	各学期に授業改善アンケートを実施し、結果に基づいて授業内容等の見直し、改善を行っている。				授業改善アンケート実施状況
			工学部	A	各学期に授業改善アンケートを実施し、結果に基づいて授業内容の見直し、改善を図っている。				授業改善アンケート結果
理工学研究科（工学系）	A	各学期に授業改善アンケートを実施し、結果に基づいて授業内容の見直し、改善を図っている。				授業改善アンケート結果			

令和5年度 教職課程 自己点検評価報告

令和6年4月 山形大学

ID	大項目	中項目	区分	部局	評価	理由	判断の根拠	
5	情報公表	学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第172条の2のうち関連部分、教育職員免許法施行規則第22条の6に定められた情報公表の状況	大学全体	自己点検・評価の観点		評価基準		
						A (適切に実施している)	B (概ね適切に実施している)	C (改善すべき事項がある)
				情報公表が適切に行われているか。		情報公表が適切に行われており、公表内容の定期的な検証・改善が行われている。	情報公表が適切に行われていないが、改善に向けた検討が行われている。	情報公表が適切に行われていない。
-	A	大学HPにおいて、毎年度教職課程に係る情報を適切に公表している。 ○山形大学HP 教員養成の状況に関する情報の公表 https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/university/open/training						
6	教職課程の自己点検・評価に関する情報公表の状況	大学全体	自己点検・評価の観点		評価基準			
					A (適切に実施している)	B (概ね適切に実施している)	C (改善すべき事項がある)	
			評価書の公表が行われているか。		評価書の公表が行われており、根拠となる資料やデータ等の定期的な検証・改善が行われている。	評価書の公表が行われていないが、改善に向けた検討が行われている。	評価書の公表が行われていない。	
-	A	令和6年4月に令和5年度分の評価書を公表した。評価方法及び根拠資料やデータの収集方法等については、教員養成委員会において確認し、改善を図っている。						